

五霞町が抱える町債の状況

平成18年度会計の決算については、広報ごか10月号で概要を説明しましたが、今回は、その中から町債(※注1)について説明します。

町では、上下水道や道路などの都市基盤整備、公共施設の整備のために国や民間金融機関などから借入れた町債が、平成18年度末の全会計で141億9千万円、町民ひとり当たりで換算すると、約143万円になっています。

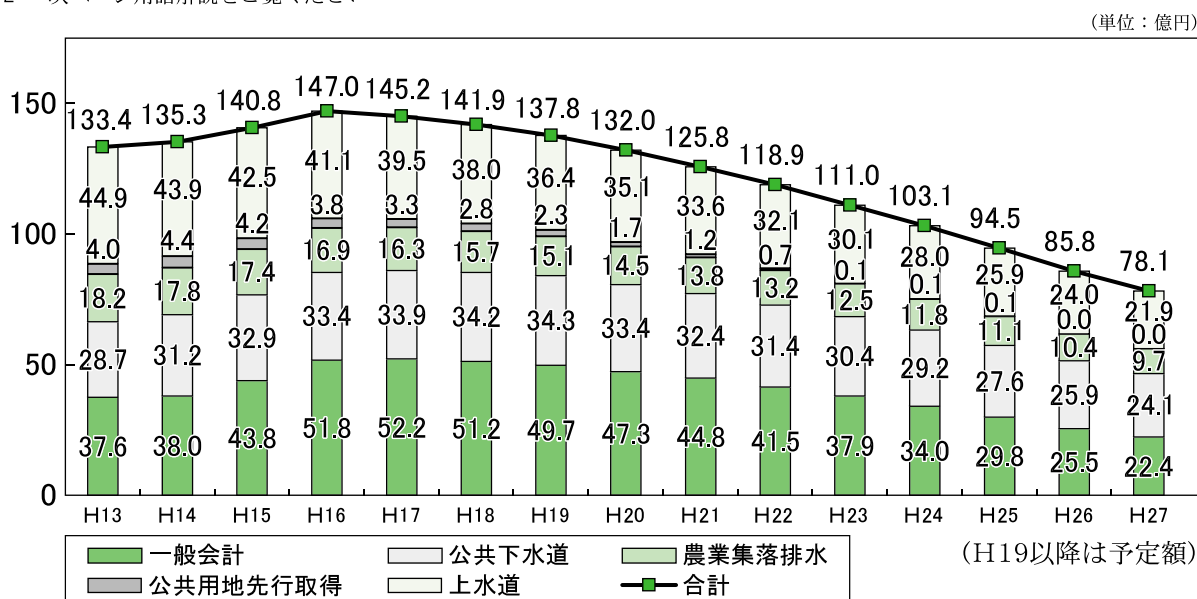
※注1… 次ページ用語解説をご覧ください

町債残高

平成16年度の147億円をピークに、平成17年度以降は徐々に減少していきます。

これは、投資的経費(※注2)を抑制するとともに、借入を最小限に抑えているためです。

※注2… 次ページ用語解説をご覧ください



町債残高がある主なもの

説明	返済終了年度	平成18年度末残高
上水道の整備	平成43年度	37億9,838万円
公共下水道の整備	平成46年度	34億1,632万円
農業集落排水の整備	平成42年度	15億7,272万円
小・中学校の耐震整備など	平成41年度	14億4,903万円
道路・橋梁の整備	平成32年度	6億 271万円
福祉センターの建設	平成26年度	4億3,024万円
道の駅ごかの整備	平成31年度	3億 534万円
総合運動公園の用地取得	平成26年度	2億7,882万円
計		118億5,356万円

町債返済額

平成23年度に12億6千万円でピークとなり、その後徐々に減少していきます。

歳出に占める返済額が多いと、他の事業費を縮小するか、基金(貯金)を取り崩さなければなりません。

(単位：億円)

